

## 小学校のあり方検討保護者意見交換会の概要

日 時 令和8年2月21日（土） 午前10時00分～午前11時11分  
場 所 役場 2階 講義室  
参加者 2名

### 主な意見・質問

○小学校のあり方（統合）についてのアンケート結果及びアンケート結果を踏まえた今後の方針（案）について

Q：小学校と中学校を一緒にするという方向で進んでいるのですか。

A：保護者の方の意見も聞いて、一緒にする方向で進めようとしています。同じ敷地の中に別の校舎を建てるという考えもありますが、より経費を節減するためには、例えば3階が中学生で1階が小学生というように、一体となったものを建てるという考え方もあります。決定ではありませんが、そういう案をお示ししています。

南知多町は、将来的に小学校も中学校も1学年1クラスになってくる可能性があります。その中で小学校・中学校それぞれグラウンドと体育館を持つのは非効率です。また、その整備にはお金がかかります。その中で、グラウンドと体育館、場合によっては理科室などの特別教室を共有すれば、効率的に運用でき、施設整備の面でも、集中的に投資ができるので、建設費も維持管理費も抑えられます。町の財政面も考えたときに、同じ敷地内でできるだけ共有できる、無駄のない建物を建てるのが現実的だと考え、このような案とさせていただきます。

意見：いいと思います。

補足：現在3つの候補地から、検討をしていますが、総合体育館周辺の場合、総合体育館にはメインアリーナとサブアリーナがあるため、小学校と中学校が一緒に使用しても効率よく使用できると考えています。また、総合体育館は休日や夜間の利用頻度が高いため、平日は学校の体育館として使用できれば効率的であると考えています。

Q：総合体育館周辺に建設という案はいいと思うが、実際に建った後の教育の形として、こうあって欲しいというところがあって、移住してくる方がいないと人口が増えないので、移住したいと思える教育の形、南知多の環境を活かした、生きる力を身につけられる教育方針、地元の農家や漁師の方などを講師に迎えたりして、町ぐるみで学んでいけるような教育をして欲しい。住んでいる方も、自分たちが当たり前だと思っていたことが、実はすごい知恵だったと知ったりすることで、その方たちもやり甲斐が生まれると思う。

そういうものを繋いでいかないと、便利なものに埋もれて生きる力もあまりない子どもたちが育っても、南知多で暮らしていくのに学問、学問、学問と言われても意味がないと思う。生きる知恵を学べる学校にして欲しいというのはある。

A：南知多町の育てたい児童生徒像に表れていますが「郷土に誇りを持ち」というのが最初に来ています。郷土の誇りというのは、豊かな自然もあるかもしれませんが、自

然の中でたくましく生きている人たちの姿が、子どもたちの誇りにも繋がると思いますが、そういうことで学び合えるような学校を作っていきたいと思っています。南知多中学校では総合的な学習の中で探求学習を行っています。南知多町の将来に向けて、3年生の生徒がクリエイティブミーティングというのを1月下旬に開催し、地域の方と意見交換し、発表をしてくれました。中学校の3年間で南知多町の課題を見つけて、南知多町をよくする方法を3年生で提案することになっています。これを小学校にも繋げて行って、小学校の時には各地区のことを学んで来て、中学校の探究活動に繋げて行って欲しいと思っています。

Q：他の地域から引っ越してきて3人の子どもがいる。南知多町に住む前は子どもの数がこんなに少ないとは聞いていなくて、知ったときにショックだった。それでも1クラスになることはないのではないかと考えていたが、自分の子どもが小学生・中学生になったときに、ここまで少なくなってしまうのだと悲しくなった。これから増える要素がないと今の問題は解決しないと思っていて、生きる力もそうですが、私は在宅で仕事ができる環境にあったので南知多町に移住することができた。私は子どもたちに自由をもって、たくさん自然と触れ合って遊んで欲しいという思いなので、私のような在宅で仕事をしている人たちを南知多町に引っ張ってこられれば、人口ももう少し増えるのだろうと思う。東京とかでも、地方に引越したら100万円あげますよとかをやっていたので、そういうものもあれば、もう少し子どもの数も増やせていいのではないかと思う。

A：貴重なご意見ありがとうございます。先程もありましたが、魅力ある学校づくりというものが、どういったものなのか難しいところがあると思います。特色のある学校づくりを当然目指していかないといけないとは思っていますし、魅力ある学校づくりをお願いしたいと言われるのですが、教育委員会が考えると画一的なものになってしまいます。そういったところを考えると、学校を造っていく中で、今後、保護者の方や地域の方のお知恵をお借りして、どういう学校を目指すべきか、こうしていったらどうかという意見をいただいた中で学校づくりをしていけば、皆さん学校に対しての思い入れも出てくると思っています。そういった意見もいただきながら学校建設をしていくべきだと思っています。今回、中学校は令和15年開校目標で進めています。そこに小学校も建設する形になると思います。そこはまだ確定ではなく案として検討していく中で、この学校が小中一貫校になるのか、小中別になるかは分かりませんが、皆さんのご意見を伺って、どのような形が南知多町にとって一番いいのかを皆で考えていきたいというところで、各地区で意見交換会などに行かせていただいて、どのような形が良いのだろうかということ投げかけさせていただいた中で、皆さんにも参加していただき、同じ方向を向いて進めていくのが一番いいと思っています。教育委員会で「こう決めました。これをお願いします。」というのは乱暴です。「これに対してどう思いますか？」と意見を聞いて、「現状はこっちを向いているがこう変えよう」とか、「そういう意見もあるけどこのままの方が良いよね」とか、皆さんが納得していただくというのが良いと思っています。何の説明もなく勝手に方針を作って進めていく形だと、皆さんが部外者になってしまう。そうならないようにみんなで同じ方向を向いて進めていく。すべての方の意に沿うことはアンケートの結果にも出ているように無理だと思っています。いろいろな議論の中で、最終的にはどちらかになりますが、話の中で納得はしないかもしれませんが、話の中に入って結論付けたということが、

自分の中で落とし込めるのではないかと思います。そういう形で作っていかないとダメなのかなと思っていますので、今後、意見交換会の場があった場合には、ぜひお越しいただきたいと思います。

Q：これからの小学校・中学校にどうやったら人が来るかをすごく考えてくれていると思うのですが、私の周りには出たいという人が多くて、その人たちの何で出たいかという意見も聞いた方が良いのではないかと思います。私の周りでは、小学校の人数が少なくなってしまうと、いじめとかが気になる親御さんが多くて、人数の多いところに引越したいというのをよく言われています。今、南知多町のいじめの問題がどうなっているのか、気になっている。人数が少なくなってしまうと逃げ場が無くなってしまう、クラス替えとかも無いという状況だとどうなってしまうのだろうと気になっています。

A：いじめなどの報告も各学校から、ある程度の数はあります。深刻に続いてしまっているものは少ないですが、これもあります。他の都市部でも同じような状況があると思いますが、学校がしっかり関わってくれています。南知多町の場合は、特に先生に相談するというケースが多く、これは本当にありがたいことです。学校のことを信頼していただいているのだなと思います。学校の教員が入って、生徒や保護者と会を持ってたりしていますので、ゼロではありませんが、深刻なものとしては現在のところは掴んでおりません。ただ、将来的には人間が関わっていくところでは、いろいろなことが出てきますので、できるだけ早く情報を掴んで、対応していきたいと思います。最初にあった、周りの方で南知多町から出ていきたいという気持ちの方が結構いるということでしたので、そのあたりの意見がお聞きできればいいなと思います。

今日はアンケート結果の報告ということなので、3地区まとめて報告させていただいていますが、この後、意見交換会を行っていくときには、各地区で条件が違うので、それぞれの地区を回りながら、意見交換会など、いろいろな機会を設けていきますので、ぜひご参加いただいて意見を頂けたらと思います。

豊浜地区に関しては、令和15年までに新しい中学校を造る目標としている中で、建設途中に後で追加するというのは難しいので、中学校の新校舎を造るところに小学校も共用という形にするのであれば、今年度でどういう方向に進めるかをある程度決めておく必要があります。今回のアンケートの結果で、豊浜小学校区の方は令和15年に中学校に併せて移転することに賛成の方が多結果でした。その中で、まず豊浜小学校は南知多中学校新校舎のところに上げましょうと、内海・みさき小学校区では、5割を若干超えたくらいの方が令和15年までにとの意見の方が多結果です。今後、内海とみさき小学校区の方には、令和15年に向けて新校舎のところに行くのか行かないのか、どういう形で行くのかも議論できます。豊浜小学校が移転して、そこに令和15年までに内海・みさき小学校が入ってくるとなっても、児童の人数からするとさほど影響がないので、一旦、小学校として豊浜小学校を南知多中学校新校舎のところに上げる。そこに令和15年に向けて協議していく中で内海小、みさき小が入ってきて、施設を大きくする必要はないので、小学校も含めた形ものを造りますということにしておけば、そこに乗っかっていくことは令和15年に向けて可能です。ですので、ゆくゆく小学校を統合することに備えてというところになってくるので、弾力的に対応はできます。アンケート結果では7割くらいの方は統合に賛成だということをもって、小学校はここに統合ですというのは乱暴なので、今回はまず、豊浜小学校

だけを上げる。その中で、今後、内海小とみさき小は皆さんと考えていければいいと考えています。

防災の関係で内海小学校は最大で1～2mくらいの浸水想定、みさき小学校は0～50cmの浸水想定ということなので、豊浜小よりはまだ安心なのかもしれませんが、高台に上がった方がより安心だということもあるので、そのあたりも意見交換会の中で皆さんに知っていただいて判断していただくこととなります。

3小学校区とも人数が少なくなっている中で、小学校を複式学級になっても残すのかということも含めて、皆さんと検討していきたい。現在、みさき小学校だと大井の子はバスでみさき小学校まで通っている。豊浜地区にできれば、同じような形でバス通学になってくると思います。バス通学より、近くの歩いて行けるところが良いと考える人もいると思うので、そのあたりも踏まえて皆さんと考えていければいいと思っています。意見交換会でいつも言わせてもらうのは、メリットとデメリットがあって、メリットとしては人数が多くなる。デメリットとしては遠くまで行かないといけない。そういったときに全てをメリットに代えることはできません。そういったときに考えるのは、メリットとデメリットを比較してメリットの多い方は賛成、デメリットが多い方は反対なのです。そのあたりを比較した中で、皆さんがどのようにお考えかをお聞きして、しっかり検討していかなければいけないと思っています。ただ、南知多中学校の統合の時もそうでしたが、皆さん変わることに関しては不安感が強いのです。これまで内海小学校で出来ていたことが、遠くの場所になる。環境が変わることに関しての不安感を皆さんお持ちなのです。南知多中学校の統合の時に、誰が一番不安視していたかということ、保護者ではなく環境の変化に直面する生徒たちでした。ですので、南知多中の統合後に生徒に取ったアンケートでは、反対の方が約7割と多かったです。その後、統合して7か月後にアンケートを取ったところ、賛成、どちらかと言えば賛成が8割を超えていました。ということは、最初の不安が解消されたのかなという思いはあります。最初の一步が踏み出せるかどうかということも出てくるので、そういったところの不安も皆さんとのお話の中で解消していく。それでもまだ、内海小やみさき小に残りたいという方もあるかもしれません。そのあたりも皆さんとお話をする中で決めていかなければいけないので、今後も協議は重ねていきますのでよろしくをお願いします。

Q：子どもはどんな環境でも順応できると思うので、そこまで不安視しなくてもいいと思っているが、校舎が古いとか安全面を思ったら、いずれはもしかしたらという思いで統合に賛成しました。どうしても統合したいということでもない。子どもが少ないなら少ない環境で育つと思うし、それが悪いとは思わない。逆にマンモス校とかに行くと、見えないいじめや質の悪いこととかも聞くし、人数を増やしたからいいとかどういいう結果になるかは全然読めないで、こっちにした方が絶対にいいというものでもない。

なので、どっちでもいいと言えばいいんですが、子どもたちがちゃんと生きていける知恵とかを南知多を活かした環境で、例えば梅干を作るとか、昔からの知恵を持った方を講師として迎えて、そういった方や町全体が輝けるような教育方針にしていただければ、ということもひっくるめて、統合が良い結果になったらいいなと思っています。

昔、東浦町の緒川小学校のオープンスクールのところでも育ったので、たまたまそういう学校を経験しているのですが、そこは、町の人たちも講師で来られていたり、子

どもたちが自分で考えて発想を形にしていくような感じだった。そういうものを自分の知恵として持っているので、そういう、外から移住してきたいと思える学校にするための話し合いに、率先して参加したいと思っているのでよろしくお願いします。

A：こういう形で会話を交わせるというのが一番いいと思います。その中でどうしていいこう、どういう学校にしていこうという話ができるので、こういった形は今後も続けていかなければいけないと思っています。

Q：堅い感じがするので、みんな来にくいのかなと思います。こうなって欲しいとかたまたま興味があるから来られるが、そもそも読まない方もいるのかなというのもある。どうしたらこういうのに率先して参加してもらえるのかなとか。もっとポップにするとか、でもそのポップさも、どうすればいいのかとかもあったりするので難しいですね。会議室っていうと身構えちゃう方もいるので。

A：難しいですね。よく言われるのが、「もう決まっているのでしょ？」という方が見えます。「だから行ってもしょうがないよね」と。でもそれは違うと思います。来ていただいた中で、どうしていいこうかということを決めていくべきだと思います。最初から、「決まっているのでしょ」とあきらめという言い方が正しいかどうか分かりませんが、そういった考えは持たない方がいいと思います。

意見：そういった方に限って、後で文句を言われる。いろいろなことで、そういったことはよく見られる。私は、言ったうえで叶わないのであれば仕方がないと思えるのですが。

○その他自由記述意見  
なし